



図書館トピックス

国見図書館40万冊・武蔵図書館120万冊達成

個人貸出で国見図書館が40万冊、武蔵図書館が120万冊を達成しました。いずれもご家族でご利用の方で、認定証交付などのミニイベントを行いました。



国見図書館



武蔵図書館

夏休み期間のイベント

市内4図書館で子ども向けのイベントを実施中です。「宇宙に行ったつもりで歩いてみよう! (国見図書館)」「めざせ! 宇宙博士 (くにさき図書館)」「ミッション イン ガチャガチャ (武蔵図書館)」「おまつりフィッシング (安岐図書館)」

図書館イベントカレンダー

8/13 土	おはなし会 午前11時 くにさき図書館 武蔵図書館 安岐図書館
8/14 日	おはなし会 午前11時 国見図書館
8/14 日 まで	プレコンセプションケア (医療保健課協働展示) 安岐図書館
8/14 日 まで	おおいそらはく2022 宇宙関連本リレー展示 くにさき図書館
8/16, 25 火 木	人権 差別をなくす運動月間 (人権啓発・部落差別解消推進課協働展示) くにさき図書館
8/18 木	あかちゃんおはなし会 午前11時 くにさき図書館
8/18, 28 木 日	プレコンセプションケア (医療保健課協働展示) 国見図書館
8/23, 9/4 火 日	野菜モリモリ350 (市民健康課協働展示) 安岐図書館

休館情報 (市内全館)

毎週月曜	図書館休館日	8/11(木)	山の日
8/31(水)	資料整理日		

司書のイチオシ

『はじめての』

島本理生・辻村深月・宮部みゆき・森絵都/著 水鈴社
「はじめて〇〇した時に読む物語」をテーマに直木賞作家の4人が書き、小説を音楽に変換するアーティストYOASOBIが各作品に楽曲を提供。心が温かくなったりハラハラドキドキしたりと、作家の個性が光っています。



くにさき図書館 司書 河野 裕子

1冊で8回楽しめる本です。読書が苦手な人でも読みやすく、読書家でもまだ読んでいない作家を知る機会になりますよ。

子ども司書のイチオシ

『電車で行こう!』

豊田巧/作 裕龍ながれ/絵 集英社みらい文庫
電車が好きな高橋雄太たちは、長崎から「白いカモメ」と「ゆふいんの森」を乗り継ぐ中で出会った社長さんと話が盛り上がる。でも気が付くと、社長さんがいない! 社長さんはいったい電車のどこへ行った…!?



富来小学校 6年 朝位 拓さん

シリーズもので、どの本もすごく面白いです。電車に興味があり、特に観光列車が大好きです。将来は鉄道関係の仕事に就きたいです。

- 国見図書館 ☎82-1585
- くにさき図書館 ☎72-3500
- 武蔵図書館 ☎69-0946
- 安岐図書館 ☎67-3551



「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」に思うこと

文責: 社会教育課武蔵分室 伊藤 尊和

8月「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」

大分県では、国の同和対策審議会答申が出された8月を今年度から「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」と改称し、人権啓発・部落差別解消に向けた取り組みを一層推進しています。国東市でも、差別をなくす仏の里のつどい、隣保館まつり、くにさき図書館との協働展示(人権図書、横断幕等の設置、啓発チラシの全戸配布など、いろいろな取り組みを毎年実施しています。

「人権パネル展『水平社宣言から100年』」の開催

今年、部落差別に苦しむ被差別部落の代表が京都に集まり全国水平社を創立(1922年)して100周年の記念の年で、県内でもいろいろな記念のイベントなどが実施されました。国東市でも、3月1日(火)〜16日(木)にアストくにさきで「人権パネル展『水平社宣言から100年』」を開催し、水平社宣言や水平社設立の歴史など全国水平社に関するものや人

権9課題など現在の人権課題に関するものを中心に、人権啓発・部落差別解消に向けたパネル展示やDVD放映を行い、多くの市民の皆さんが来場されました。このパネル展は8月下旬に再度開催する予定です。

「解放の父」松本治一郎の歩みに学ぶ

全国水平社と関わり深い人物に松本治一郎がいます。福岡県出身の松本は、全国水平社創立の翌年の全九州水平社の結成に参加し、1925(大正14)年に全国水平社の委員長に選出されました。その後、部落差別の解消に向けた活動だけでなく、インドのネルー首相(当時)や被差別カーストの指導者と会談するなど、アジア・アフリカ地域の差別解消に向けた国際連帯の活動を進め、諸外国との友好親善にも力を注ぎました。

没後50周年記念集会に参加して

ところで、私は今から6年前、福岡市立中央市民センターで開かれた「松本治一郎没後50周年記念集会」に参加しました。この集会は、多くの民

私たちにできること

国東市では、「国東市における部落差別等あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例」を定め、地区人権学習会をはじめとする人権に関する研修会や講演会を開催するなど、年間を通してさまざまな取り組みを行っています。部落差別の問題について、昔からの偏見をうのみにしたり、インターネット上の誤った情報やデマに惑わされたりせず、自分で判断し、行動していく習慣を身に付け、差別の解消につなげていきたいと思います。



人権パネル展「水平社宣言から100年」(アストくにさき)